

その1

### 全国初！鉄道会社で 水素エネルギーを導入！

南武線武蔵溝ノ口駅の屋根に設置した太陽光パネルの電気を、ホームに設置した東芝エネルギーシステムズの自立型水素エネルギー供給システム「H2One」に送り、CO<sub>2</sub>フリー水素を製造し、平常時は駅の照明等の電源に使用、災害時は非常用電源として活用することができます（平成29年4月完成）。JR東日本と川崎市が一体となって、CO<sub>2</sub>排出削減を目指します。

### 豆知識：なんで水素エネルギーなの？

- ・利用段階でCO<sub>2</sub>（温室効果ガス）を排出しないから低炭素化に貢献できる！
- ・いろんな原料から作ることができる！
- ・日本の技術力で世界をリードすることができる！



その2

### 世界初の 水素ホテルが開業！

殿町国際戦略拠点キングスカイフロントに、使用済プラスチック由来の低炭素水素を電気や熱エネルギーとして利用する世界初の水素ホテルである「川崎キングスカイフロント東急REIホテル」が、平成30年6月に開業しました。ホテル全体で使用する電気や熱等の約3割を賄うことができます。

その3

### 日本初！ EVごみ収集車を導入

ごみ焼却施設でごみを焼却した際に得られる蒸気での発電（廃棄物発電）を活用した、「エネルギー循環型ごみ収集システム」による、EVごみ収集車（電池交換型）を、平成31年2月に日本で初めて導入し、川崎市の南部地域（川崎区）のごみ収集に使用しています。走行中・作業中のCO<sub>2</sub>やNO<sub>x</sub>の排出がなく、環境にやさしいシステムです。



その5

### 世界初の輸入水素を 利用した水素発電の開始！

千代田化工建設を中心とした次世代水素エネルギーチェーン技術研究組合（AHEAD）は、ブルネイ・ダルサラーム国で調達した水素を川崎臨海部に輸送し水素発電に利用する水素サプライチェーン構築に向けた実証を行っています。実証期間は、令和2年1月～12月までの予定です。海外から輸入した水素を水素発電に利用する取組は、世界初となります。

その4

### 1人1日当たりの ごみ排出量が政令指定都市最少に！

資源物の分別収集を進めるとともに、普通ごみの収集回数を見直すなど、市民・事業者の皆さんの長年にわたる日々のごみ減量の取組、御協力により、川崎市の1人1日当たりのごみ排出量（834g）が、政令指定都市の中で最も少なくなりました\*。

\*平成29年度実績



ごみ総排出量も減っているんだよ。  
市の人口は増えているのに、すごいね！

このように、川崎市は環境先進都市として、環境やエネルギーに関して先進的な取組を進めています。今後も、川崎だけでなく、地球のよりよい環境を次の世代に引き継いでいくためにも、環境施策の推進に努めていきます。